



かけはし

連合長崎大東・壱岐・対馬
地域協議会
大村市西三城町9-1 勤労者センター内
Tel.0957-48-6045
発行責任者：川本良美
2024年1月5日 第31号

2024年 新年のご挨拶



謹賀新年



連合長崎大東・壱岐・対馬地域協議会 議長 高崎 融

連合長崎大東・壱岐・対馬地域協議会構成組織の組合員の皆様、並びにご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかで心新たなお正月を迎えられたことお慶び申し上げます。

昨年、第13回定期総会において議長に就任しました高崎 融です。出身労組は自治労連・大村市職員組合です。今後の地協活動に皆様と共に頑張りますのでよろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、長らく続いた新型コロナウイルス感染症は、感染法上の位置づけが5類に引き下げられたことで、仕事面、生活面、また組織活動においても少しずつコロナ禍前に戻りつつあります。昨年の春闘において30年振りに高水準の賃上げを獲得しました。この流れを継続し、今年の2024年春季生活闘争は、実質賃金がプラスになるように賃上げ5%以上を全ての構成組織組合員の力で勝ち取りましょう。

自民党の派閥による裏金疑惑が、政治不信に拍車をかけています。特に若い世代では、今回の問題発覚後、国民に説明をせず、自ら辞めるわけでもない政治家の姿に興ざめしているのではないのでしょうか。バブル崩壊以降、就職氷河期や非正規雇用の問題など続いて、若者が政治に希望を持ってなくなっているような気がします。投票率は下がり続けています。本年は、第50回衆議院選挙の施行が予想されます。腐敗した自民党政権に「NO」を突き付けるために私たち地協で推薦した候補者の勝利が必要です。政治にしらけるのではなく、みんなで投票に行き、労働者・生活者が安心して暮らせる社会をめざしてがんばりましょう。

連合長崎大東・壱岐・対馬地域協議会は今年も、政策、国民運動、レク活動、ボランティア活動を取り組んでいきます。私たち労働者が安心して暮らせる「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、構成組織の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

アジア・アフリカ支援米の取組報告

今年も連合長崎各地協・ブロック県内8か所で田植え・稲刈りを実施し、収穫量は1,980kgでした。また、支援米カンパ金で1,020kgを購入し、合計3,000kgを下記場所に送付することになっています。

- (1) WFP (マリ共和国) 900kg
- (2) くっくま孤児院 (カンボジア) 900kg
- (3) 県内のこども食堂 630kg
- (4) フードバンク (つなぐBANK) 570kg

支援米発送式
2024年1月15日(月)12:30
長崎市役所前広場で開催されます

「アジア・アフリカ支援米」及び「ひとり親世帯支援米」寄付活動実績

対馬ブロック及び対馬地区労協では、アジア・アフリカ支援米活動として東南アジアの孤児院や県内の子ども食堂への支援をはじめ、対馬市内において、貧困等により支援を必要とするひとり親世帯（子育て世帯）を支援するため、つなぐBANKつしま（事務局：対馬市社会福祉協議会）と連携した活動を行っています。

今年もアジア・アフリカ支援米200kgを、連合長崎を通じて寄付することができ、ひとり親世帯支援米200kg（支援世帯40世帯に5kgずつ）をつなぐBANK対馬を通じて、ひとり親世帯に寄付することができました。さらに今年は、事業の趣旨にご賛同いただき、支援米活動にご協力いただいている農事組合法人榎椎小原から、ひとり親世帯に対して、餅米200kgが寄付され、支援の輪が広がりました。

今後も、支援米の活動やフードドライブ、生活用品収集活動を続けていくことはもちろんですが、協力いただく組合員皆様への感謝と活動の趣旨をしっかりとお伝えし、支援の輪づくりに努めていきたいと考えています。

実績写真



ひとり親世帯支援米



農事組合法人榎椎小原から寄付いただいた餅米



つなぐBANKつしまへ贈呈



ハッピーバスケットと一緒に家庭へ届けられます